

船舶事故等調査報告書

平成22年12月16日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010門第147号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年2月18日 19時00分ごろ	
発生場所	山口県山陽小野田市小野田港口付近 小野田港第5号灯浮標から000° 200m付近 (概位 北緯33°57.7′ 東経131°09.1′)	
事故等調査の経過	平成22年9月8日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 貨物船 ^{まんよし} 萬吉丸、499トン 船舶番号、船舶所有者等 140697、沖井海運株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、三級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船底に凹損、プロペラ翼に曲損	
事故等の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、針路を南西に向け、約6ノットの対地速力で手動操舵により小野田港口付近を出航中、平成22年2月18日19時00分ごろ、浅所に乗り揚げた。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南西、風力 2、視界 良好 海象：波高 約0.5m、潮流 なし、潮汐 上げ潮の初期	
その他の事項	船長は、小野田港第5号灯浮標を右に見て航行するつもりであったが、小野田港第5号灯浮標を小野田港第8号灯浮標と間違え、左に見て航行していた。 船長は、目視により航行し、レーダー及びGPSプロッターを活用していなかった。 本事故当時、本船の喫水は、船首約3.22m、船尾約4.52mであった。 小野田港第5号灯浮標の西側は浅くなっており、水深が約4～5mであった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、小野田港口付近を出航中、船長が、レーダーやGPSプロッターを活用し、船位の確認を適切に行わなかったため、浅所に向かって航行していることに気付かず、同浅所に乗り揚げた可能性があると考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、小野田港口付近を出航中、船長が船位の確認を適切に行わなかったため、浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	